

先進医療B

FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断 アルツハイマー病

概要：放射性医薬品 ^{18}F FDGを人体に投与し、脳の糖代謝をポジトロン断層撮影装置で画像化する診断技術です。精細で鮮明な脳糖代謝画像が得られるため、アルツハイマー病の診断に有用です。

院内製造



小型サイクロトロンによる
ポジトロン核種の製造

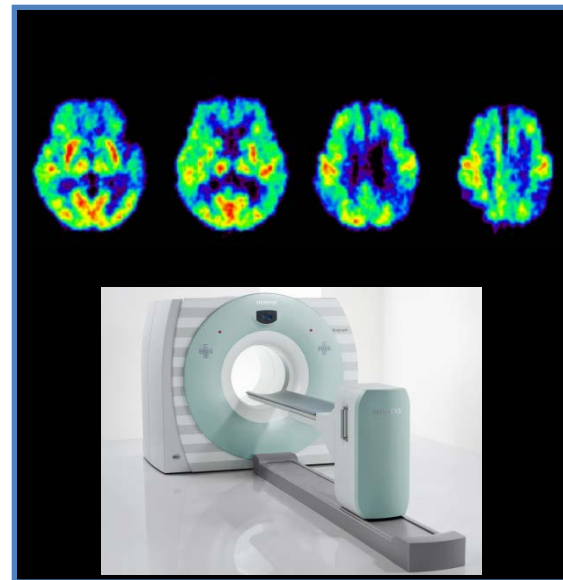


自動合成装置による ^{18}F FDGの合成



^{18}F FDGの投与

安静



PET-CT装置による撮像

医薬品



使用目的：アルツハイマー病と前頭側頭葉変性症 の鑑別

現在当該疾患に対して行われている診断との比較：従来の脳血流SPECTに比べて鮮明な画像が得られ、高い精度でアルツハイマー病の診断が可能であるため、治療方針の決定に有効です。

(平成26年8月)